



大雪に係る鳥取県情報連絡会議

【日時】令和3年12月30日(木)午後1時～

【場所】災害対策本部室

【参加者】

知事、副知事、統轄監、危機管理局、農林水産部、
県土整備部、警察本部、鳥取地方気象台、国土交通省、
NEXCO西日本

*** 副知事、統轄監は別室で参加**

*** 各総合事務所・市町村・警察・消防局・自衛隊には衛星配信**

目的・次第

<目的>

12月31日にかけて、大雪が見込まれることから、今後の気象予測等を関係機関等と共有するとともに、市町村・県民への注意喚起を図る。

<議題>

- 1 最新の気象状況及び今後の予測等
- 2 市町村・県民への注意喚起等
 - (1)市町村への依頼事項
 - (2)県民への注意喚起等
 - (3)県外からおいでになる皆様へ
- 3 警戒・即応体制の確保等

1 最新の気象状況及び今後の予測等

今回の大雪の特徴

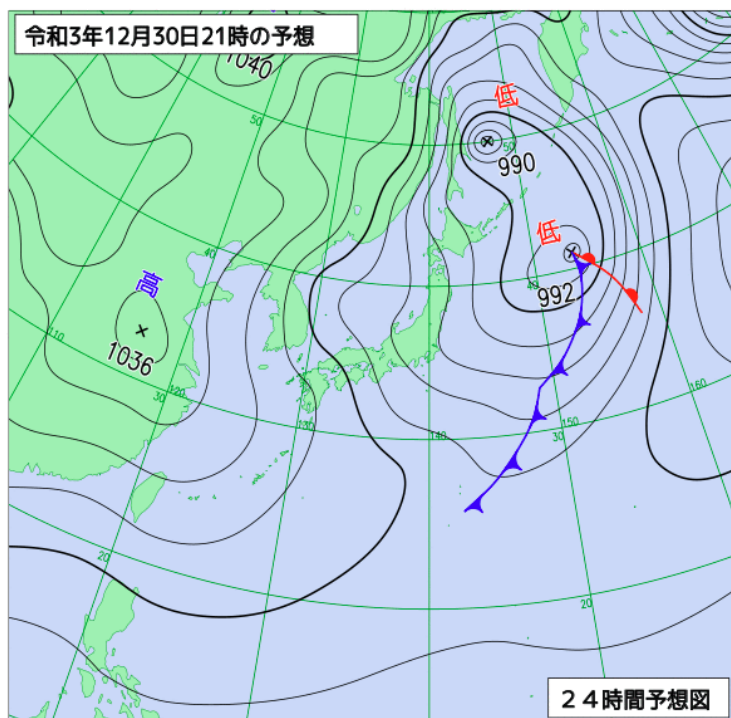


鳥取地方気象台

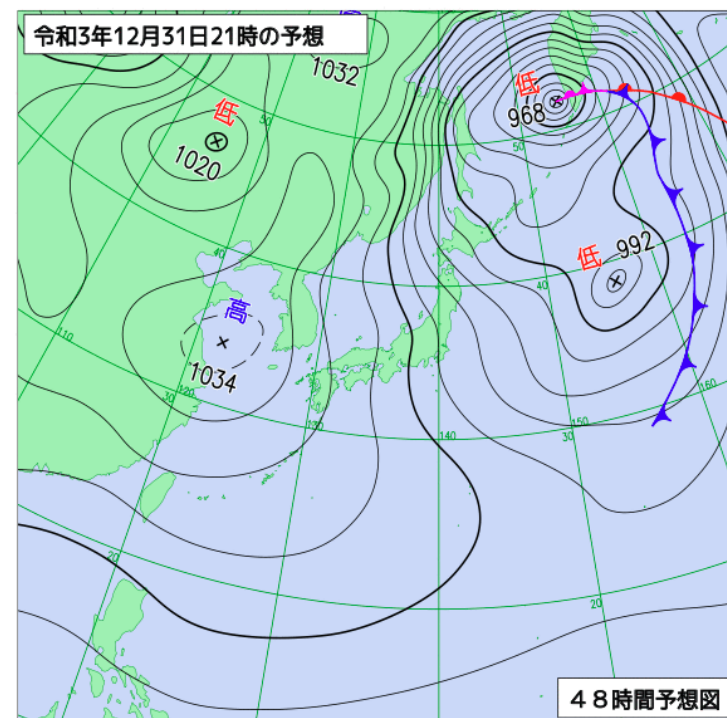
Tottori Local Meteorological Office

- ・ 約1500メートルの寒気は前回の大雪（12/26）と同じぐらい
- ・ 31日JPCZが日本海から鳥取県に南下する
- ・ 大雪のピークは31日で前回より時間的に短く、降雪量は少ない見込み
- ・ 鳥取地区、八頭地区、倉吉地区、米子地区が中心となる見込み
- ・ **31日は、大雪警報を発表する可能性がある**
- ・ 1月1日には次第に冬型の気圧配置が緩み降雪が弱まる見込み

1月1日にかけての天気



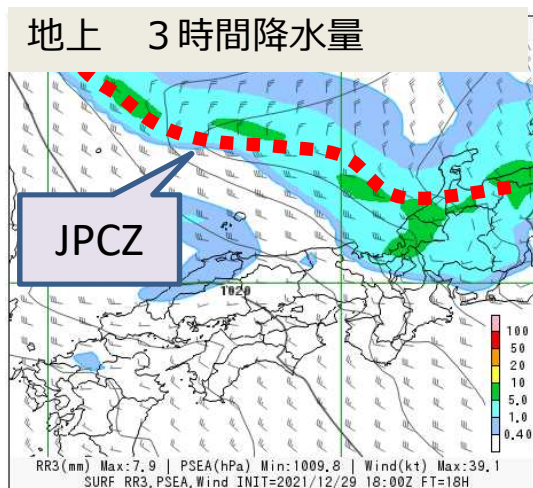
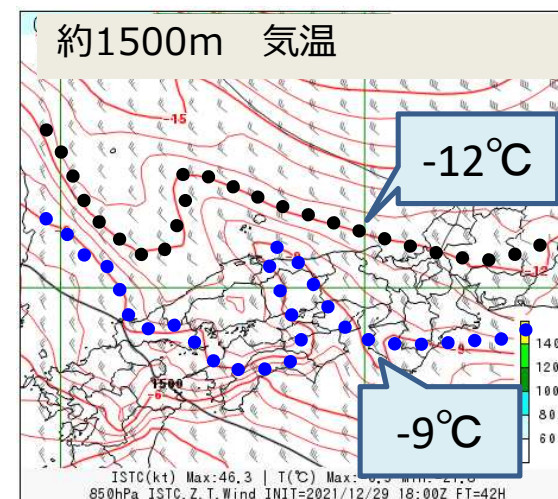
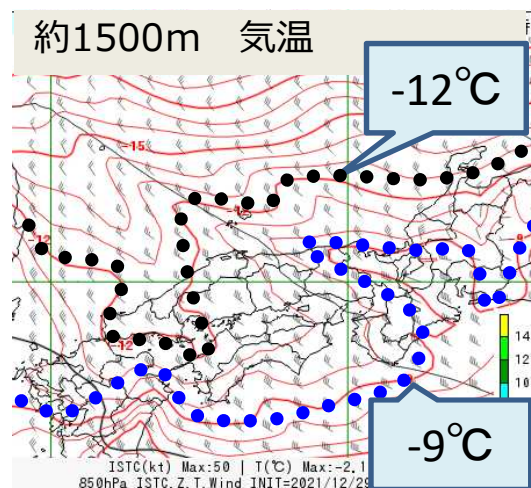
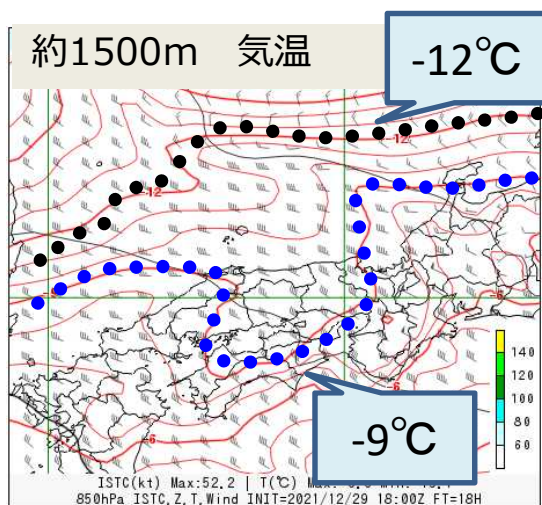
30日21時予想図



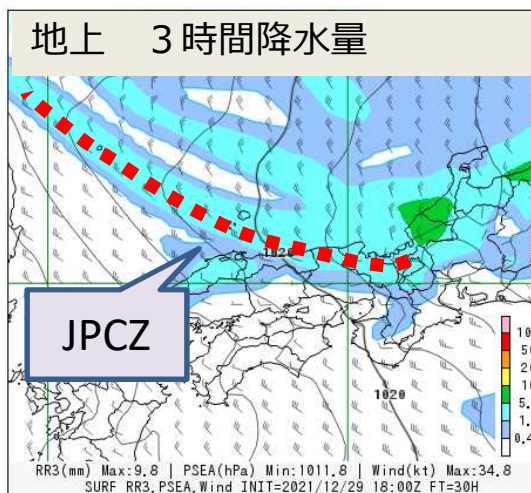
31日21時予想図

西日本の上空に強い寒気が流れ込み、31日を中心に冬型の気圧配置が強まる。

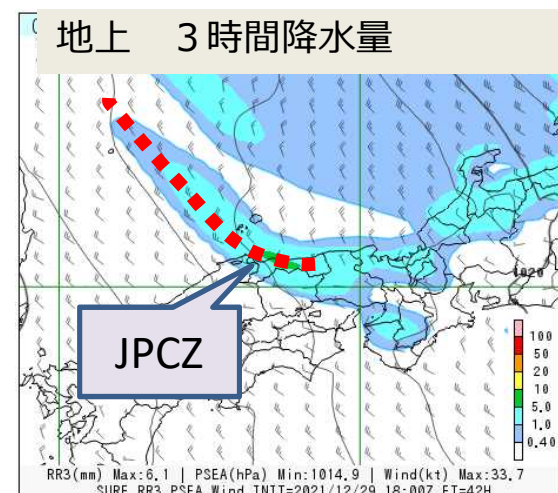
30日と31日の予想図



30日21時



31日09時



31日21時

- ・ 上空約1500mには、氷点下9度以下の強い寒気が流れ込む。
- ・ 31日は、JPCZが日本海から鳥取県に南下。降雪が強まる。

30日から1月1日までの予想

			30日					31日							1日				
			9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
			昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く				
大雪	東部	平地			★														
		山地			★														
	中・西部	平地			★														
		山地			★														
風 (メートル)	東部	陸上	12 →	15 →	15 → ☀	15 → ☀	15 → ☀	15 → ☀	15 → ☀	13 → ☀	13 → ☀	12 → ☀	12 → ☀	12 ↓ ☀	12 ↓ ☀				
		海上	15 →	20 →	20 → ☀	20 → ☀	20 → ☀	20 → ☀	20 → ☀	18 → ☀	18 → ☀	15 → ☀	15 → ☀	15 ↓ ☀	15 ↓ ☀				
	中・西部	陸上	12 →	15 →	15 → ☀	15 → ☀	15 → ☀	15 → ☀	15 → ☀	13 → ☀	13 → ☀	12 → ☀	12 → ☀	12 ↓ ☀	12 ↓ ☀				
		海上	15 →	20 →	20 → ☀	20 → ☀	20 → ☀	20 → ☀	20 → ☀	18 → ☀	18 → ☀	15 → ☀	15 → ☀	15 ↓ ☀	15 ↓ ☀				
波浪 (メートル)	東部		3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4	4	4				
	中・西部		3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4	4	4				
雷	鳥取県		注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注					

警報級 注意報級 *

【大雪】

大雪注意報は、30日夕方に発表予定。31日に大雪警報の可能性。

【風・波】

雪を伴った強風は31日にかけて続き、海上では30日昼過ぎから31日明け方にかけて非常に強い風が吹く見込み。海上では、30日昼過ぎからしけとなり、1月1日頃まで続く見込み。

■ 24時間降雪量 ■

(30日06時～31日06時)

東部、中・西部 平地 10センチ
山地 30センチ

(31日06時～1月1日06時)

東部、中・西部 平地 20～40センチ
山地 40～60センチ

早期注意情報（警報級の可能性）

鳥取県東部の早期注意情報（警報級の可能性）									
2021年12月30日05時 鳥取地方気象台 発表									
東部では、31日までの期間内に、大雪、波浪警報を発表する可能性がある。									
鳥取県東部		30日			31日		1日	2日	3日
		06-12	12-18	18-24	00-06	06-24			
大雨	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	1時間最大	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下			
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下			
	24時間最大				50から100				
大雪	警報級の可能性	-			[中]		[中]	-	-
	6時間最大	下記以外	0	0	5	7	10		
		山地	2	5	15	15	20		
	24時間最大				50から70				
暴風(雪)	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	最大風速	陸上	12	15	15	15	13		
		海上	15	20	20	20	18		
波浪	警報級の可能性	-			[中]		[中]	-	-
	波高	3	4	4	5	5			

■ [高]
 ■ [中]

- ・大雪 31日、1月1日 [中]
- ・波浪 31日 [中]

防災上の注意警戒事項

【雪】

- ◆30日夕方から1月1日にかけて断続的に雪が降る。
- ◆降雪のピークは31日。
- ◆31日は、大雪警報発表の可能性。

【風】

- ◆31日夜遅くにかけて雪を伴った強風に注意。

【波】

- ◆30日昼過ぎからしけとなり1月1日頃まで続く見込み。

《防災事項》

積雪や路面の凍結による交通障害、電線や樹木への着雪、雪による倒木、なだれ、高波、強風、雪による見通しの悪化、落雷、突風、農作物や農業施設(ビニールハウスの倒壊など)の管理

2 市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その1)

- ◆夜間・休日における参集体制、被害情報の収集・伝達方法等の再確認
- ◆早めの住民への防災行政無線等による必要な情報の提供、注意喚起
- ◆避難所の準備

○コロナ感染症の拡大防止を踏まえた避難所の留意点

<避難者の健康状態の確認>

避難者が避難所へ到着した時に体調不良者を早期発見できるよう、検温など可能な限りの健康チェックを行い、健康状態を把握。

<避難所内での十分な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保>

必要に応じて、段ボール間仕切りや段ボールベッドを活用。

<頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底>

避難者及び避難所運営スタッフの、基本的な衛生対策の徹底。

<在宅避難者の把握に努めること>

2 市町村・県民への注意喚起等

(1)市町村への依頼事項(その2)

◆孤立集落発生に備えた支援準備

- 孤立集落との連絡手段の事前確認

- ライフライン障害発生に備えた救援物資(食糧、飲料水、暖房機器(ストーブ等)モバイルバッテリー、小型発電機等)及び避難所の提供準備

- ※その他、鳥取県地域防災計画に定める雪害対策への準備

- ※県では緊急用に衛星携帯電話6台、EV用の外部給電器10台(東部4台、中部3台、西部3台)を貸出可能。

◆公共交通の長時間の立ち往生発生時の支援

- 公共交通車両を含む立ち往生が発生した場合の避難所等の提供準備

2 市町村・県民への注意喚起等

(2) 県民への注意喚起等(その1)

大雪警報・注意報など気象台の発表やニュースなど最新の気象情報を確認してください。また、大雪による視界不良時は不要不急の外出、車の運転をなるべく控えるよう強くお願いします。

雪道での車の運転

- 必ず冬用タイヤの装着やチェーンの準備をしてください。
- 気温が下がっている時は路面の凍結にご注意ください。特に日陰や峠道、橋の上は凍結しやすいので、慎重に運転・通行してください。
- 大雪時の渋滞や立ち往生を想定して、スコップ・飲食料・毛布などを車内へ備えておく、車のガソリンをこまめに満タンにしておく工夫も大切です。
- 万が一、車が雪で埋まったら、一酸化炭素中毒防止のため、できるだけエンジンを切り、マフラー周辺を定期的に除雪しましょう。

孤立のおそれがある地域での対策

- 食料、水、燃料等の十分な備蓄や連絡手段を確保しておきましょう。
- 大雪による倒木で道路の通行止め、停電、電話不通が長時間にわたり発生する可能性があります。親戚や知り合い、ホテルなどへの事前避難を検討してください。

2 市町村・県民への注意喚起等

(2) 県民への注意喚起等(その2)

除雪作業中の事故 防止対策を！

- 雪下ろし**などの除雪作業は複数人で、はしごを固定し、ヘルメット・命綱を正しく装着して行いましょう。
- 除雪機**を使うときは周囲に人がいないことを確認し、雪詰まりの取り除きはエンジンを切ってから行いましょう。
- 作業のときには携帯電話を持っていきましょう。

なだれや屋根からの 落雪に注意！

- 斜面下の付近にお住いの方は、建物の2階などの高く、斜面から離れた場所で生活するよう心掛け、なだれ注意報等の気象情報やなだれの前兆現象（雪の裂け目や雪の固まりが転げ落ちるなど）に注意し、早めの避難に努めましょう。
- 新雪や晴れの日の雪のゆるみによる屋根等からの落雪、つららの落下、電線からの落雪に注意しましょう。

水道管の凍結・ 破裂に注意！

（-4度以下の低温が
予想される場合は特
に注意）

- 凍結を防ぐには、水道管や蛇口の部分に保温材を取り付けたり、少しずつ水を出し続けておくと凍結しにくくなります。
- 凍ってしまったら、自然にとけるのを待つか、凍った部分に布やタオルをかぶせて、その上からぬるま湯をかけてゆっくりとかしてください。

2 市町村・県民への注意喚起等

(2) 県民への注意喚起等(その3)

**大雪による船舶の
転覆・沈没に注
意！**

- 定期的な係留状況の確認、早目の準備（陸揚げ保管、係留の強化等）を行いましょう。
- 単独作業を避け、必ず救命胴衣の着用をお願いします。

**▽雪に関する注意情報は鳥取県ホームページでもお知らせしています。
※トップページにリンクを掲載しています。**

<https://www.pref.tottori.lg.jp/yuki/>

2 市町村・県民への注意喚起等 (2) 県民への注意喚起等(その4)

○最新の気象情報や防災情報に基づいて行動してください。

■最新の気象情報は、気象庁のホームページ等で確認を。

- ・警報、注意報等、台風情報、キキクル（危険度情報）など



■市町村は防災行政無線等、県はホームページ、トリピーメール、防災アプリ等で防災情報や公共交通機関の運行情報等を発信。

- ・避難情報・避難所開設状況
- ・交通情報
- ・道路情報
- ・ライフライン情報 など



ホームページ「とりネット」

「雪に関する注意情報」のページを設置
(トップページの「防災・救急」又は特設リンクから)

とっとり雪みちNavi

県内の道路状況をライブカメラで確認できます。

<http://yukinavi.net/index.html>

「あんしんトリピーメール」

スマホや携帯電話等に気象情報や防災情報等をメールで配信

「あんしんトリピーなび」

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリ
(プッシュ通知や最寄りの避難所情報など)

■NHKのデータ放送（生活・防災情報）やヤフー防災速報でも各種防災情報が確認可能。

2 市町村・県民への注意喚起等

(3) 県外からおいでになる皆様へ ①

○大雪のときは大型車両の来県は控えてください

- 鳥取県では、12月30日から1月1日にかけて大雪となる見込みです。**不要不急の運転を控えてください。**
- 県内では、大型トラックや大型トレーラーによる立往生が多発しています。こうした**大型車両は、他地域を経由した広域迂回を検討してください。**
- なお、鳥取県に入ってくる時は、**道路情報の十分な確認と冬用タイヤの装着、タイヤチェーンの準備**を必ずお願いします。
- 特に12月31日は警報級の大雪となる可能性があります。今後の気象状況にご注意ください。

2 市町村・県民への注意喚起等

(3) 県外からおいでになる皆様へ ②

○年末年始に一般車両で来県される方は大雪にご注意ください

○鳥取県では、12月30日から1月1日にかけて大雪となる見込みです。大雪警報・注意報など気象台の発表やニュースなど最新の気象情報や道路情報、交通情報を確認してください。

○雪道では、ハンドルやペダル類の”急”のつく運転操作は禁物です。先行車との車間距離も多めにとるようにしてください。

○車でお越しになる場合は、必ず冬用タイヤの装着やチェーンの準備をしてください。

○万一、スタック等で身動きができなくなった場合は、JAFに救援を求めてください。

※詳しくは、「雪道での車の運転」の注意事項を確認ください。

3 警戒・即応体制の確保

- ◆現時点では、本県への影響について警戒・監視を行うとともに、各部局において適時、県民等への注意喚起等を行う。
- ◆大雪警報、暴風(雪)警報(風が陸上25m/s以上)が発表された場合、県の体制を「警戒体制」に移行する。
- ◆その他、社会生活に大きな影響が生じた場合、状況に応じた体制強化を行う。

(体制移行のめやす)

- **注意体制** 公共交通機関の予定運休情報を入手した場合
- **警戒体制 (1)** 大雪警報、暴風警報、暴風雪警報の発表 (風は陸上25m/s以上)

道路の除雪体制

平成29年1・2月の豪雪や昨冬の倒木による通行止めの経験を踏まえ、強化した除雪体制により県内の道路交通確保に努め、関係機関と情報共有を図り、連携して道路交通の確保に努める。

除雪体制

① 除雪車の体制

- ・ 全除雪車 499台が出動可能な体制を配備（県: 373台、国土交通省: 100台、NEXCO: 26台）

② 早期の除雪出動（出動基準5～10cm程度）

- ・ 気象状況に応じた早めの出動を全除雪業者に指示

③ 全除雪車へのGPSシステムの配備や、ライブカメラの増設

- ・ 除雪作業の効率化を図るため、全除雪車へのGPSシステムの配備
- ・ 各路線の路面状況の把握を図るため、ライブカメラを増設 253台（H28:153台）

④ 重点除雪区間の早期交通確保

- ・ 豪雪時に広域的な交通と緊急車両等の交通を確保することを目的に、優先的に除雪作業を行う重点除雪区間を設定

⑤ 凍結防止剤の散布

- ・ 凍結に備えて国道181号、180号、183号をはじめ国道482号内海峠や国道313号犬狹峠、国道179号人形峠等の県境部において重点的に凍結防止剤の散布を実施

⑥ 排雪場の確保

- ・ 河川敷などに排雪場を確保し、関係機関とも情報共有

⑦ 大型車待避所の確保

- ・ 鳥取道や鳥取西道路等の集中除雪（通行止め）時に大型車が退避できるスペースを確保（河原除雪基地、布勢総合運動公園、武蔵武道館、東郷湖羽合臨海公園 等）

道路の除雪体制

倒木に対する対応

- ① 事前パトロール
 - ・ 倒木危険箇所を点検し、所有者の許可が得られた場合は部分伐採を実施
- ② 緊急連絡体制の確認
 - ・ 中国電力、N T T、森林組合連合会の緊急連絡先の確認
- ③ 倒木発生時の対応
 - ・ 役割分担と協力体制、作業手順の確認

関係機関との連携

- ① 事前に関係機関(国、県、市町村、NEXCO、警察等)の対策会議により、通行規制時の対応等について確認し訓練を実施。
- ② 大雪時には、県土整備部道路企画課に「情報連絡本部」を設置し、災害対策本部及び関係機関(国、県、市町村、NEXCO等)で除雪・交通状況等を共有し、連携して調整。
 - ・ リエゾンの相互派遣、リモート常時接続による情報共有

道路の除雪体制等

道路利用者等への情報発信

- ① 道路情報板への道路情報の表示
- ② あんしんトリピーメール、雪みちNavi、ホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ（NHK第一、BSS、FM山陰）、SNS等により道路利用者に向けて道路通行状況等を情報発信

[情報発信する内容]

- 道路通行規制情報（通行規制開始・規制解除時）
- 道路路面の積雪状況（雪みちナビで随時情報発信）
- 気象情報（注意報・警報発令時）
- 道路利用者への呼びかけ（異常気象時「不要不急の外出を控えてください」）
- 道路利用者へのお願い（異常気象時「広域迂回を行ってください」）

道路利用者等への要請

鳥取県トラック協会への要請

令和3年12月28日付で「鳥取県豪雪時における広域迂回のお願について」を鳥取県トラック協会に文書で発出

[要請内容]

- 鳥取県に大雪が予想される場合の中国道、山陽道などの他圏域への広域的迂回
(25～27日の豪雪で鳥取自動車道等で大型車によるスタックが原因となる車両滞留が発生)
- 冬用タイヤの装着、タイヤチェーンの装備



道路の除雪体制

道路交通規制状況

- 県・国・NEXCO管理道路において、大雪による交通規制箇所なし。
- 26日に大型車スタックにより通行止めとなった鳥取自動車道は、27～29日に拡幅除雪を実施され、30日からの降雪に備えている。

12月30日の道路の交通規制状況

12月30日(木)9時現在

通行規制箇所数 全面通行止 0箇所

【県管理道路】

現状	路線名	区間	規制の種類	理由	規模、被害状況	規制日時	孤立集落の有無	備考

【国・NEXCO管理道路】

現状	路線名	区間	規制の種類	理由	規模、被害状況	規制日時	孤立集落の有無	備考

道路の除雪体制

＜大雪時における国管理道路等の幹線道路の除雪＞

集中除雪の実施

- ① 大雪時に大型車両のスタックによる通行止めが発生しやすい区間を集中除雪区間として設定し、重点的に除雪を行う。(重点除雪)
- ② 降雪が激しく、一方が通行止めの可能性が高まった場合、鳥取県災害対策本部等と協議し集中除雪を行い、除雪完了後、早期に交通開放を行う。この場合、1日前には「集中除雪の可能性のある路線を公表」し、不要不急の外出自粛と広域迂回を呼びかける。(集中除雪)

※同時に2路線の通行止めを行わない。

※国道9号、53号、29号等の現道は、集中除雪を行う場合でも緊急車両・2t以下の車両の通行を確保する。

■牽引用車両待機

- ・ 立ち往生が予想される箇所に牽引用車両として除雪機を事前待機
(国道9号、鳥取道)

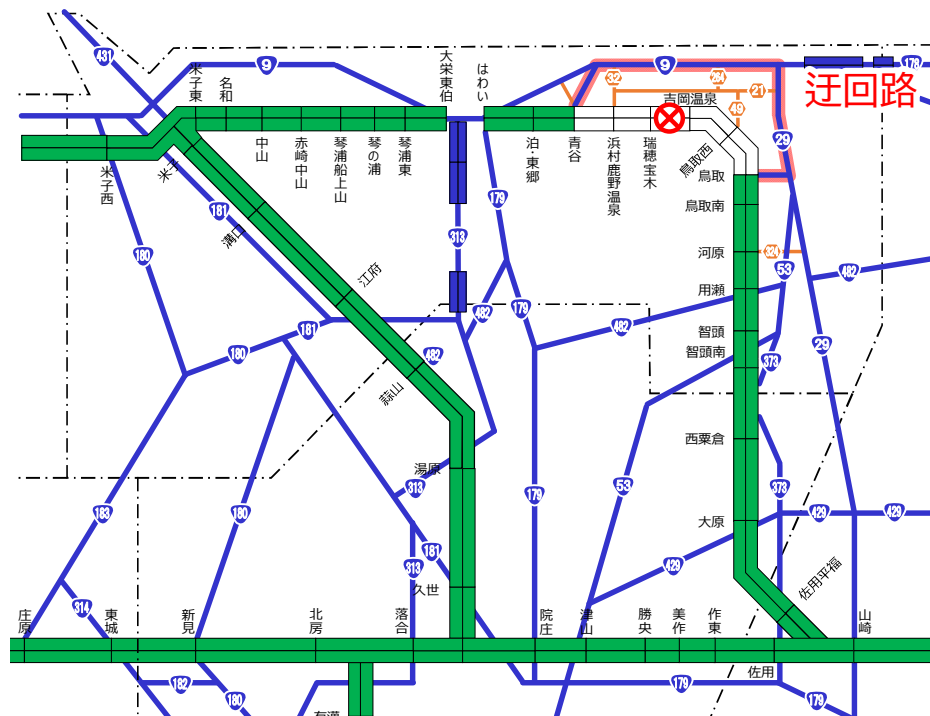
■大型車待避スペース確保

- ・ 大型車待避スペースを確保
(河原除雪基地、布勢総合運動公園、武蔵武道館、東郷湖羽合臨海公園など)

道路の除雪体制

<国管理道路等個別除雪計画>

《山陰道(鳥取西道路)・国道9号除雪計画》

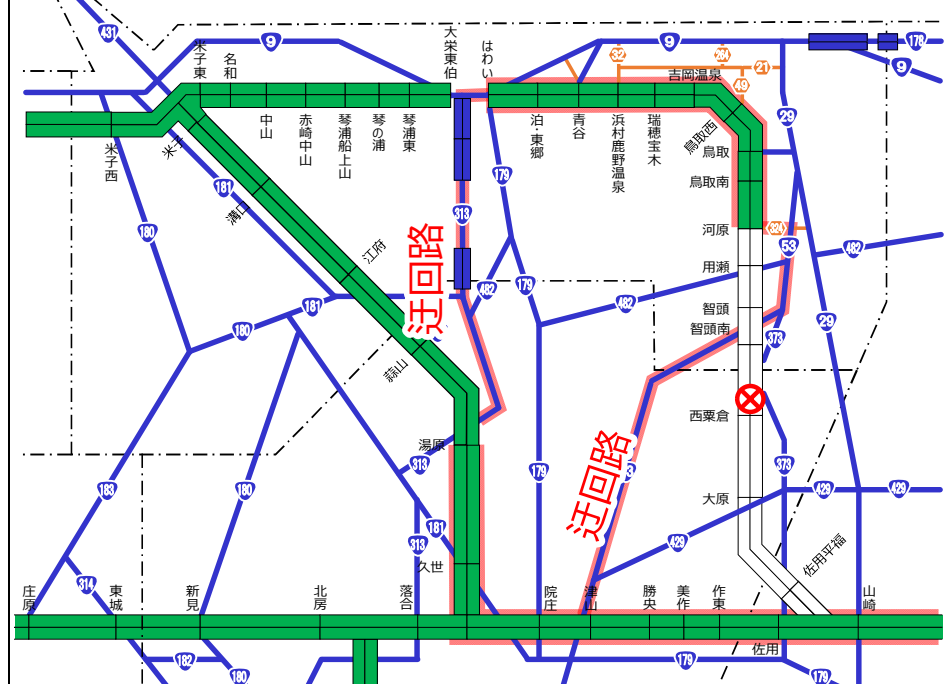


鳥取西道路を集中除雪区間に設定し、重点的に除雪を行う。集中除雪に伴い通行止めにする場合には、鳥取IC～青谷IC間を通行止めとし、**国道29号と国道9号の交通を確保し迂回路**として設定する。

山陰道の除雪が完了次第、早期の交通開放を行う。

※国道29号と国道9号を集中除雪する場合でも緊急車両・2t車以下の交通を確保

《鳥取道(大原IC～河原IC)除雪計画》



鳥取道(大原IC～河原IC)を集中除雪区間に設定し、重点的に除雪を行う。集中除雪に伴い通行止めにする場合には、広域迂回を設定し、**佐用JCT～河原IC間を通行止めとし、中国道から国道53号、国道9号、国道313号の交通を確保し迂回路**として設定する。

鳥取道の除雪が完了次第、早期の交通開放を行う。

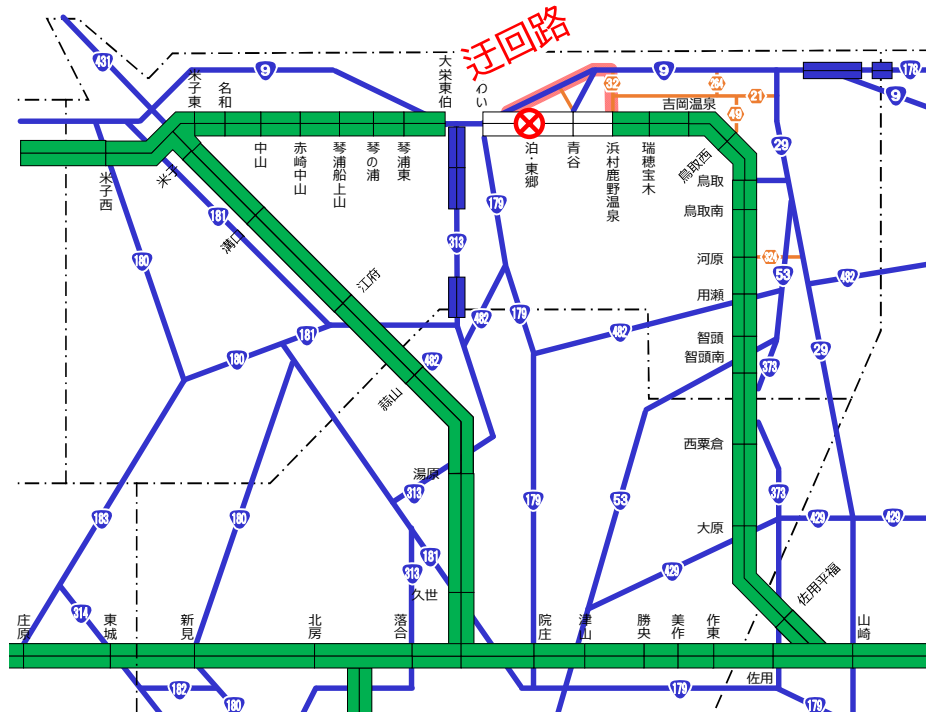
降雪状況によっては**播但連絡道路や松江自動車道を迂回路**とする。

※国道53号、国道9号、国道313号を集中除雪する場合でも緊急車両・2t車以下の交通を確保

道路の除雪体制

＜国管理道路等個別除雪計画＞

《 山陰道(青谷羽合道路)・国道9号除雪計画 》

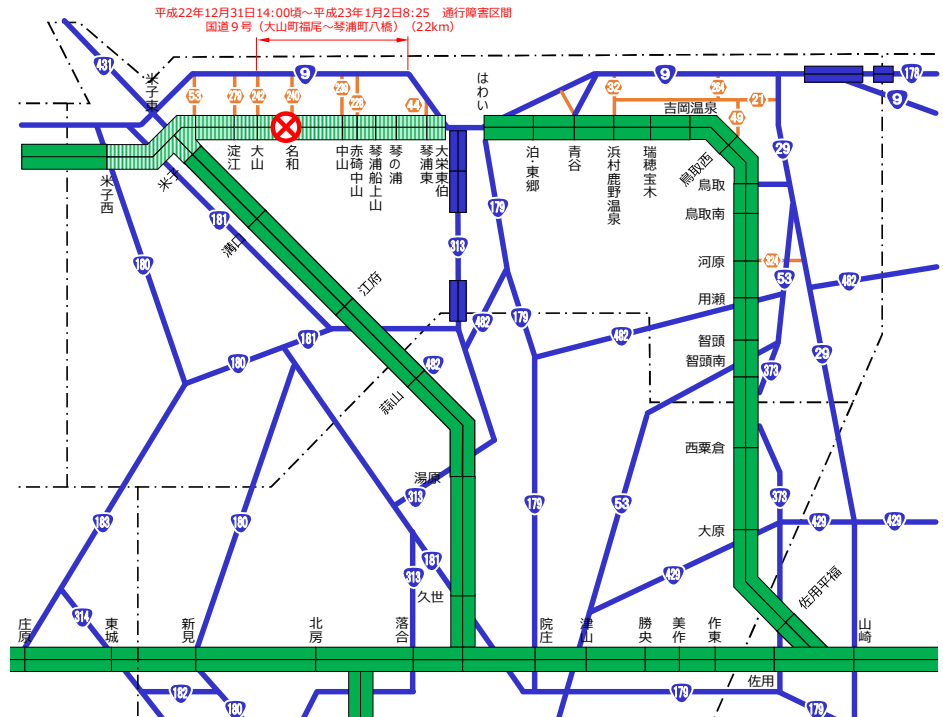


青谷羽合道路を集中除雪区間に設定し、重点的に除雪を行う。集中除雪に伴い通行止めにする場合には、浜村鹿野温泉IC～はわいICを通行止めとし、**県道郡家鹿野気高線と国道9号の交通を確保し迂回路**として設定する。

山陰道の除雪が完了次第、早期の交通確保を行う。

※県道郡家鹿野気高線と国道9号を集中除雪する場合でも緊急車両・2t車以下の交通を確保

《 山陰道(東伯大栄IC～米子西IC)・国道9号除雪計画 》



山陰道(大栄東伯IC～米子西IC)を集中除雪区間に設定し、重点的に除雪を行う。集中除雪に伴い通行止めにする場合には、山陰道の通行状況、国道9号・ICアクセス道路の除雪状況等を踏まえて**総合的に判断し各ICアクセス道路と国道9号の交通を確保し迂回路**として設定する。

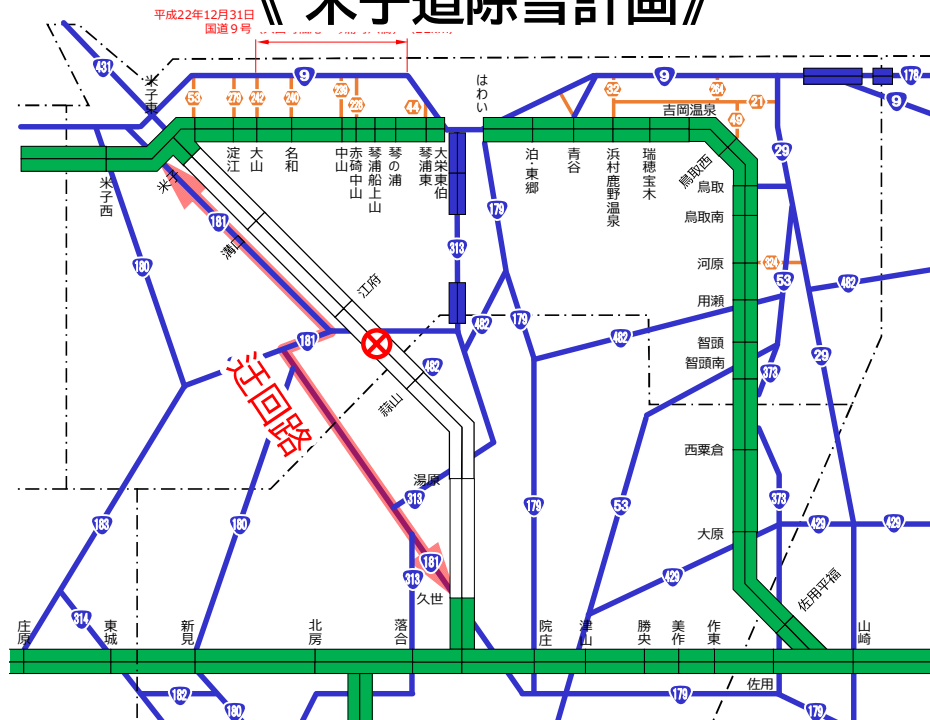
山陰道の除雪が完了次第、早期の交通確保を行う。

※国道9号は交通止めによる集中除雪は行わない。

道路の除雪体制

＜国管理道路等個別除雪計画＞

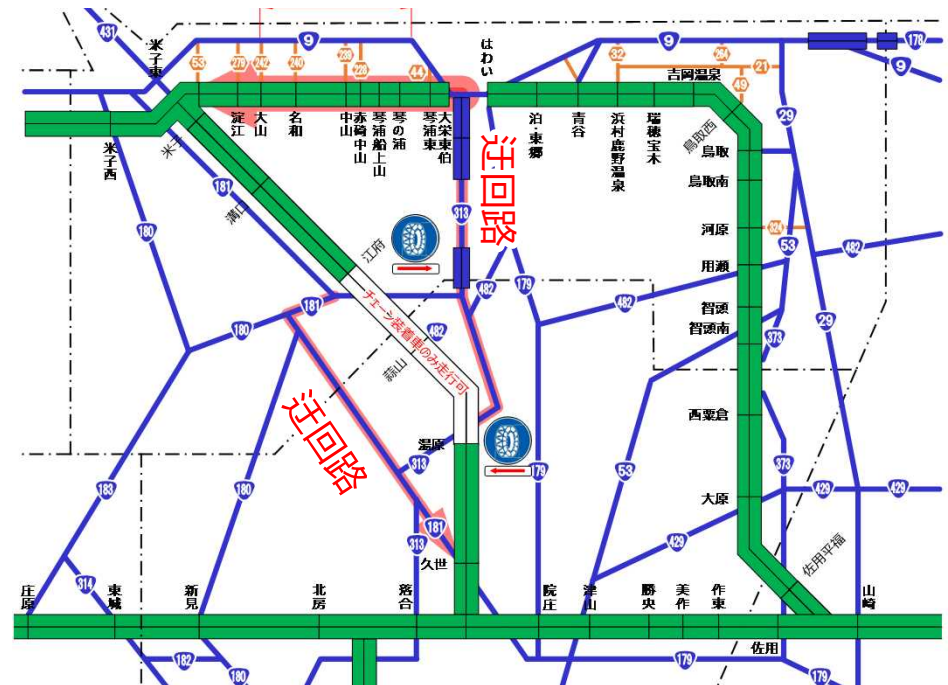
《米子道除雪計画》



米子道を集中除雪に伴い通行止めにする場合(チェーン規制時以外)には、山間部への通過交通の流入を防ぐため、**久世IC～米子IC間を一体的に通行止め**にすることとしている。

↓
＜迂回路＞
国道181号

《米子道チェーン規制時除雪計画》



米子道(湯原IC～江府IC)において**チェーン規制**を実施する場合には、チェーン未装着については**湯原ICまたは江府ICで退出**させる。

↓
＜迂回路＞

湯原IC退出: 国道313号
江府IC退出: 国道181号

広域迂回案内については、NEXCOが中国道で案内を実施

126

E73 米子自動車道に係る対応

1. 注意喚起

- ◆年末年始の降雪予測に関する注意喚起を実施（12月28日～）
（NEXCO西日本のホームページ、アイハイウェイ）
- ◆関係機関と連携し、必要な注意喚起や情報提供の実施

2. 対応体制

- ◆最新の気象予測を踏まえ、警戒レベルを判断し体制を構築

3. 冬用タイヤ規制 及び 重点的な除雪

- ◆積雪や路面状況を踏まえつつ県警と連携し「冬用タイヤ規制」の実施と、冬用タイヤ装着チェック、指導の実施
- ◆最新の気象予測に基づく隣接事務所からの除雪車両の強化配置も含めた重点的な除雪や、凍結防止剤の散布を24時間体制で実施

4. 関係機関との緊密な連携

- ◆道路管理者間での迅速な情報共有、連携を実施（県、国交省 他）

農林水産関係への対応

1 農業関係

- 12月25日からの大雪で積雪が多かった地域について、ハウス周辺に雪が残っている場合は早めの除雪を呼びかけ。
- 果樹・野菜、畜産、パイプハウス等施設の雪害対策について、各市町村、JA、県農林局等を通じて農業者へ対策を講じていただくよう連絡。

・「寒候期における農業技術対策」について市町村や農業関係団体などに周知。(11/30、12/16、12/23)

＊更に、再徹底の連絡を実施済み。(12/28)

- 経験の浅い新規就農者や若手農業者を重点とした個別指導(11/中～)や研修会(12/15)等を実施。

以下の対策の徹底について重点的に注意喚起している。

耕種農家	<果 樹(梨)>	◇積雪前の粗せん定、果樹棚用の中柱(突き上げ柱)を追加補強
	<野菜(白ねぎ)>	◇土寄せの徹底、バンド補強(出荷約5割終了)
	<パイプハウス>	◇防風ネットや寒冷紗を取り除く(雪が滑り落ちにくく、倒壊につながるため) ◇支柱の配置(モウソウ竹、間伐材、直管パイプなどをハウス内部で地面から天部に突き上げる) ◇アーチパイプ地際部の補強(経年劣化で腐食が進んでいる場合は、補強用のパイプを差し込む) ◇降雪前にハウスを密閉(内部の温度を高く設定し、融雪を促すため)
畜産農家	<畜 産>	◇給水管等は断熱材で被覆し凍結防止、畜舎の保温対策

2 農地・ため池関係

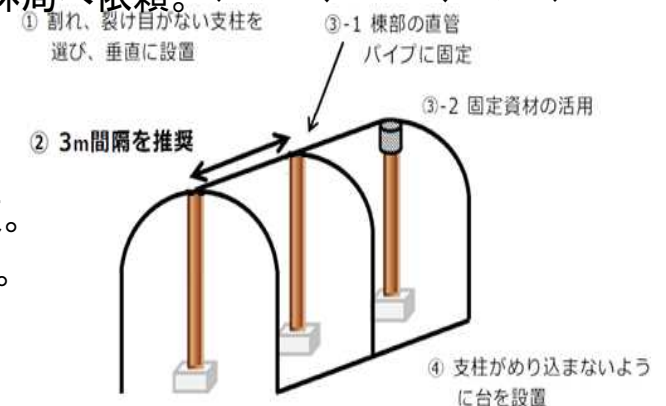
- 「降雪期における農業用施設の安全管理の徹底について」各市町村、各農林局へ依頼。(12/15、12/24、12/28)

3 林業関係

- 各農林局に対して、管内事業者及び各市町村への大雪に係る災害発生防止に向けて情報収集と安全管理の呼びかけ徹底を依頼。(12/16、12/24)
- 各林業関係組合に対して、各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼。
- 県指定管理施設(出合いの森、二十一世紀の森)へ安全管理の徹底を依頼。

4 水産関係

- 各漁業協同組合や水産関係団体向けに、漁業関係者の安全確保、漁船・漁具、漁港・海岸保全施設、漁業用施設等における防災措置について依頼済み。



パイプハウス内の支柱の配置

公共交通機関の対応

◆運行状況

- ・12月31日、JR因美線「はくと」「いなば」「普通列車」全列車運転見合わせ
（山陰線も見合わせの可能性あり(今後の予報で判断)）
- ・その他、現時点で、運休、欠航を決定したものはなし
- ・路線バスのうち、勝部線、佐治線、江波赤波線の一部で、除雪困難箇所があり迂回運行

◆公共交通機関との連絡体制の強化・再確認

- ・年末年始・夜間を含め、交通事業者との緊急連絡体制を強化・再確認
（列車停止や立ち往生等、利用者の長時間の滞留の可能性のある事象については
早めの情報提供を呼びかけ）

⇒今後も関係機関への情報提供、関係機関からの情報収集に努め、天候悪化に伴い
交通などに影響が出た場合には、メールやホームページで随時情報提供を行う。